

第1回組織委員会からのご報告

2015年9月4日(金)札幌パークホテルにおいて第1回 Sapporo Conference for Palliative and Supportive Care in Cancer (SCPSC) 組織委員会が開かれ、今後の SCPSC の運営についてと第2回 SCPSC 開催の件が決議されました。以下議事録の概要を記します。

1, SCPSC の運営について。

- ① 理念：SCPSC は global conference として palliative oncology と psycho-oncology を基盤とし、主にそれらの研究面を発展させ、(日本、アジアの) がん医療に貢献することを目的とする。
- ② 研究領域：SCPSC は、その研究領域を American Society of Clinical Oncology (ASCO) 分科会の Palliative Care in Oncology Symposium の掲げる主題群に準じる。
- ③ 組織：以下の委員会から構成される
 - ・組織委員会 (organizing committee) ・プログラム委員会 (program committee)
 - ・Senior advisory committee(ただし、当面組織委員会はプログラム委員会を兼任する。プログラム委員への推薦があれば任期2年として就任可とする)
- ④ 組織委員会：組織委員会は conference の議長(chair) 副議長 (co-chair) を選任する。当面は照井健先生を組織委員会委員長として SCPSC の運営を行う。conference は原則的には2年毎の開催とし、定例の委員会は年2回開催、他は conference の準備状況に応じて開催する。本委員会の委員に適切と思われる推薦があれば協議により決定する。
- ⑤ Conference chair と co-chair：両者は組織委員会にて決定されるが、原則的には組織委員の中からの選任が望ましい。chair が co-chair を推薦する。
- ⑥ 2017年の2nd SCPSC の conference chair は大西秀樹先生、co-chair は高橋孝郎先生、2019年の chair は照井健先生が決定された。
- ⑦ 事務局：東札幌病院が conference chair の指導の下 conference 運営の事務、予算の執行等を行う。

2, 2nd SCPSC の企画の件

- ① conference は2017年6月16日(金)17日(土)の2日間、札幌パークホテルでの開催が決定された。
- ② 予算、参加費について討議され、詳細は後程の報告となる。
- ③ プログラム編成にあたっては、chair, co-chair の責任の下各委員からの希望・意見の集約を行い骨格は2015年12月末までに完成する。海外招待演者は10数人が予定された。演者の決定はその都度各委員の了承を得る。
- ④ 各演題の座長は組織委員を中心に選定される。
- ⑤ プログラムは2016年3月にホームページに掲載する。

- ⑥ 一般演題の公募は今回見送ることが妥当とされた。
- ⑦ 公用語は英語であるが当面は同時英和通訳を設営する。

SCPSC 組織委員長 照井健

東札幌病院 病院長

平成 27 年 9 月 8 日